



平成24年度 学校だより (NO.501)



くぬぎ台小

冬休み特別号

平成24年12月25日刊
横浜市立くぬぎ台小学校

ホームページへようこそ！ [くぬぎ台](#) → [検索](#) 昨日までのお客様 = 17,689人



41年間で培ったものは



2月下旬に発行予定の統合記念誌の編集をするために、学校の書庫にある古いアルバムを整理していたら、こんな写真が出てきました。昭和48(1978)年3月に行われた第一回卒業式の様子です。ごらんの通り、場所は屋外。体育館もまだなく、増築工事も完了していない現在の職員室あたりの場所と推定されます。本校は、昭和46年10月に開校しましたが、この年は卒業生はなく、翌年に最初の卒業式が行われました。そんなことが自分の頭の中で整理されてくるうちに、この第一回の卒業生の皆さんは、何と私自身と全く同じ歳だということに気づきました。その途端に感慨深くなり、自分の卒業はどんな様子だったのかと、自宅の納戸からアルバムを引っ張り出してきて調べてみました。

私の卒業文集のトピックスコーナー「将来の夢」の欄には、当時、苦し紛れに思いつきで書いたいい加減なものがあり、本気でその夢を実現させようと思ったことなど一度もありませんでした。今思うと、お恥ずかしい限りです。

そんな思いに耽っている頃、本校の卒業生で、現在、日本ハムファイターズのピッチャーとして活躍されている八木智哉さんが来校して、夢の実現について子どもたちにお話をしてくださいました。「夢を実現させるには、そのことを思いっきり楽しんで、ずっと続けること。努力を惜しまないこと。」ということでした。小学

副校長 鵜飼 数夫

校時代の卒業文集に書いた夢は、もちろんプロ野球選手。中学でも野球を続け、大切なステップとしての甲子園出場に一番近道と思われる高校を選んだりしました。自分の夢の実現に向けて着実に計画的に努力を続けた結果です。

昨年の40周年記念ふれあいミュージックには、同じく夢を叶えた卒業生代表として、元プロミュージシャンで日本レコード大賞の金賞まで獲得した三島亜希子さんをお招きして一緒に歌を歌いました。こちら、小学校時代からの夢を見事に実現された方です。

いずれも小学校時代の夢を叶えられたこのお二人。卒業年度が2年違うだけで、ほぼ同時期に本校に在学していたこととなります。これは、単なる偶然なのでしょうか。そうではないと思います。教育用語で、「The Hidden Curriculum」「潜在的カリキュラム」というものがあります。これは、国語・算数のような、きちんと紙に書かれていて目に見える正式なカリキュラムではなく、その学校が長年かけて培ってきた精神文化、校風や伝統のようなものを指します。子どもたちの人格形成にとって、これが非常に大切なものであるとされています。

くぬぎ台小学校には、開校間もない頃から形を変えながらも今に続く素晴らしい活動がたくさんあります。縦割り活動やフェスティバル、ふれあいミュージックなどがその具体例です。伸び伸びと学校生活を送り、友達を大切にしながら、自分自身のことを真剣に考え行動するという校風が生まれ、それが41年間かけて培われ、統合を目前にした今にも生きているのです。そんな校風が、このお二人に限らず、数多くの有為な人材を輩出してきたのだと思います。

夢には終わりはなく、変化・進化しながら続きます。八木さんの現在の夢は、大好きな野球を1年でも長く続けることだそうです。

今年度を限りに、このくぬぎ台小から巣立つ133名の未来は明るいと思っています。

今年も最後まで充実!

～全てを、悔いなくやり遂げるために～

12月15日(土)
川島原地区社会福祉協議会企画
クリスマスがやってくる!



例年は西原集会所で開催されていますが、今年は例年の2倍の数の子どもたちが招待され、3・4年生17名が参加しました。

地域の高齢者の方々と一緒にリースをつくり、お弁当を食べ、紙芝居を見て、踊りを披露しました。

本校では、地域とのつながりを大切に、地域に貢献できる人づくりを目指しています。

12月14日(金)人権週間出前授業
パラリンピックの選手がやってくる!

今年は、保土ヶ谷区社会福祉協議会の紹介で、ロンドンパラリンピックの陸上競技(100m・200m)の加藤有希選手が学校にきてくださり、日本代表の選手としてのお話を聞かせて下さいました。脳性麻痺のため、ご主人のお話や質問に答えるという形で会が進められました。

お話の中で、印象に残っているのは自分の夢を叶えるためには①楽しむ事②続ける事の二つが大切だということでした。それは、12月5日にいらした日本ハムファイターズの八木選手が言っ



いたことと同じでした。

くぬぎっ子133人の今の夢はなんでしょう?

夢を叶えるために今から準備をしておきましょう。

12月22日(土)横浜市小学校球技大会
全市のバスケット大好き少年少女がやってくる!



5年生・6年生合わせて、23人の人たちが参加してきました。

自分より背の高い人、足の速い人。横浜市内には、すごい人がたくさんいたね。

12月18日(火)安パト定例協議会
安パト隊がやってくる!

この会も、回を追うごとに参加して下さる方が増え、充実してきています。また、地域の方々がくぬぎっ子との会食を楽しみにしていることもわかります。

給食後の協議会では、来年度の見守りの場所や注意事項についてお伝えしました。



12月11日(火)第2回まちとともに歩む学校づくり懇話会報告(略してまち懇報告)

地域の方々がやってくる!

参加して下さったお一人お一人から、くぬぎっ子たちの様子についてお話を伺いました。多くの方々からお褒めの言葉をいただきましたが、今後の課題として「あいさつ」についてのご指摘もいただきました。その後、教職員で検討しましたが、くぬぎっ子たちは「あいさつ」を朝のあいさつだけだと勘違いしてはいないか、知り合いと学校や地域ですれ違う際の「こんにちは」や会釈なども「あいさつ」の仲間であることを教えていこうと確認し合いました。



くぬぎ台小学校では児童数が少なく運動場も広いので、校庭でのサッカーはルールを守れば、休み時間にもやることができます。

で、朝はサッカー少年少女たちがサッカーをしに登校してきます。開門は8時00分。ちょっと早めにくる人たちもいます。

9月28日早朝は、強い風の吹く日でした。開門をまっている間に正門前の集積所のごみが強風に飛ばされてしまいました。それを見つけた、サッカー大好き兄弟がいました。自分達でそのゴミを片付けに向かいます。立派です。

スポーツが大好きな子どもたちは、人のためにどうしたらよいかを考えてくれるようになります。自分が良いシュートを打つためには、良いパスをもらうこと。良いパスをもらうためには、自分も良いパスをあげる。それが信頼関係です。「情けは人のためならず」は「人を甘やかしてはいけない」ではなく、人に優しくすると自分にもどって来るという意味なのです。

◎週案の話

週案というのは、先生方が毎週末になると学校長に提出する次週の学習計画案です。

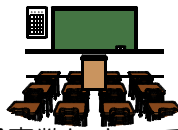
週案には、前の週の子どもの様子などが先生方自身の振り返りとして書かれています。学校長はそれを読み、来週の先生方の予定を把握します。

ある先生の週案に、こんな振り返りがありました。「最近、子どもたちが書いている連絡帳の字の乱れが気になります。字の乱れは生活の乱れだと思い、家庭と連携を取りながら指導支援していきたいと考えています。」

まだまだ、未成熟な子どもたちには形から入る指導も大切にしたいものです。教科書・ノート・筆箱・ランドセル・文房具・上履き・服装・髪型など。

冬休みに入ります。週案同様に学校長が目を通した各学年だよりは、お道具箱の中身の点検をお願いするお知らせが書かれていました。お金を渡すだけの子どもまかせではなく、一緒にそろえてみて下さい。ノート・筆箱は学習態度が一目で分かる情報源です。この冬休みを、学年に関係なく学校での学習の様子を知る絶好のチャンスに！

統合ニュース



◎学級数の予想

学級数は、各学年の在籍する児童数によって法的に決められています。

1年生と2年生は35人までが1学級になります。3年生は、35人までで1学級になるか40人までで1学級になるか、まだ文部科学省で審議中です。4年生以上は40人までが1学級です。また、個別支援学級は8人までが1学級ですが、人数だけでなく個の特性による学級編成となります。どの学年も、くぬぎ台小1学級と川島小2学級を足して3学級ということではありませんので、ご承知おき下さい。

◎通学について

先の両校合同PTA役員会で、統合後は年間を通した「集団登校」ということに決まりました。

現在、各校の校外委員会の方々がその登校班を編制しています。学校側とも情報交換をしながら進めています。

家庭のご事情のより、くぬぎ台小学校の学区で川島小学校に通学していた人たちと班が一緒になる場合もあります。4月に入ってから、新しいお友達、新しい通学路に不安がないよう事前の取り組みも計画しています。



保護者・地域の皆様へ

平成24年が過ぎようとしています。平成23年は、くぬぎ台小学校が生まれて40年目を迎えた年でした。創立40周年を子どもや保護者・地域とお祝いする、とても充実した一年を送ることができました。ありがとうございました。

そして、平成24年。川島小学校との統合の話も正式に決まり、今度は統合にむけて、子どもたちが自信をもって新しい川島小学校の一員となるためには、この一年間をどう過ごしていけばよいのか悩みました。そして出した結論は、くぬぎ台小学校を完璧にやり遂げるための一年間を過ごすことと判断しました。保護者・地域の皆様、それを私たち学校は少しでも達成できたでしょうか。是非、ご意見をいただけたらと思います。

保護者・地域、そしてくぬぎっ子たちに支えられてきた、あつという間の一年間でした。一年間、お世話になりました。ありがとうございました。くぬぎ台小学校として残すは3ヶ月間、がんばりますので、どうぞよろしくお願いたします。すべてのご家族・地域の皆様に良い年が訪れますように、感謝を込めて。